

げんきっ! NPO

NPOとは営利を目的とせず社会活動をする組織です



◆市民公益活動の輪

市民公益活動とは、市民が非営利で自発的かつ自主的に行う社会貢献活動のことをいいます。NPO法人(特定非営利活動法人)のように法人格を取得して活動している団体だけでなく、少人数のボランティアグループ、町会・自治会なども含まれます。

市内の市民公益活動団体は、福祉・教育・まちづくり・スポーツなどの幅広い分野で活動しています。このような団体の活動を支援しているのが「富田林市市民公益活動支援センター」で、市内を主な拠点とする約200団体が登録しています。

その中には、それぞれ独自の活動を行うだけでなく他の団体や人、行政などにつながり、さらに活動の輪を広げている団体もあり、同センターではそのようなマッチング・コーディネートも行っています。

■第19回市民活動わくわく広場inとんだばやし ～ひろがる! つながる! GoToひろとん～

「市民活動わくわく広場inとんだばやし」(ひろとん)では、各団体がステージ発表、パネル展示、ブース出展など、さまざまな形でそれぞれの活動を紹介します。

当日はどなたでも自由に来場できますので、市民活動に興味をもっている方や、何から始めていいかわからないと悩んでいる方は、ぜひお越しください。人と人、人と団体のつながりが、新しい活動の機会や分野を生み出すきっかけになるかもしれません。



とき 2月18日(日)、午前11時～午後4時

ところ エコール・ロゼ

費用 無料(当日直接会場へ)

※詳しくは、「ひろとん」特設ウェブサイト [https://hiroton19.jimdofree.com/] をご覧ください。



富田第19回ひろとん実行委員会事務局 [☎(26)7887]

人権・市民協働課(内線473)



令和6年1月～

市社会福祉協議会が、ボランティアのホームページを開設しました!



市社会福祉協議会登録ボランティアの活動内容や活動日などの詳細は、ボランティアホームページに掲載しています。

ボランティア活動をしたい人、ボランティア依頼したい人の情報を掲載したり、地域のイベントでご自身の特技を披露していただける皆さん(講師)の情報を発信したりしています。

ボランティアに興味をお持ちの人は、ぜひご利用ください(右図からご覧いただけます)。



生き活き☆プロジェクト ～ボランティア・就労講座～

自分の特技や趣味などを活かしながら、自分らしく活躍できる場所を見つけるきっかけづくりとなるような講座を年に数回開催しています。

とき 2月14日(水)、午後2時～3時30分

ところ 総合福祉会館

内容 シルバー人材センター、ボランティア、趣味・イベントの活動紹介、実際に活動されている人からの体験談紹介など

定員 15人

申し込み 2月6日(火)～、総合福祉会館へ(申し込み先着順、電話申し込み可)

市社会福祉協議会 [☎(25)8200]



いきいき 介護予防

ロコモティブシンドローム (ロコモ)をご存知ですか

■ロコモって何？

ロコモは、骨、関節、筋肉といった運動器のいずれか、あるいは複数に障がいが起こり、「立つ」「歩く」などの機能が低下している状態をいいます。進行すると日常生活にも支障が出てきます。いつまでも自分の足で歩き続けるために、ロコモを予防することが大切です。

■ロコモ予防の体操「ロコトレ」

スクワットや片脚立ちなど、ロコモ予防の体操を「ロコトレ(ロコモーショントレーニング)」といいます。このロコトレを学ぶ「あすラクからだ教室」の卒業生9人が、2020年から「TOMASロコモ」という団体名で、毎月1回、1時間程度皆で集まり、ロコトレをしています。「月1回ならなんとかできる！」と集まる回数や場所を、メンバーで相談して決めました。1人ではなかなか続けられなくても、誰かと一緒に続けられます。グループLINEで連絡を取り合い、輪番制で、当番

の人が集まる会場を予約します。また、体操の声掛けも当番の人が行います。集まって体操をするだけでなく、近況報告や日常の話をしたり、交流の場にもなっています。年2〜3回、リハビリの専門職である作業療法士がロコトレを指導してくれます。参加者の皆さんは、定期的が集まってロコトレをすることで、生活の中で役割をもち、新たな繋がりができました。そして何より、自分の足で歩くことができる筋力を維持できています。

■地域でのロコトレを支援します！

皆さんも、介護予防の取り組みをはじめてみませんか。高齢介護課では、ロコトレを地域の活動に取り入れる団体を支援します。詳しくは、お問い合わせください。



高齢介護課(内線196)

みんなで乗って守り育てよう



地域公共交通

■旧金剛バスに替わる新しい公共交通について

令和5年12月21日から、旧金剛バスに替わる新しい公共交通「4市町村コミバス」が運行しています。

4市町村コミバスは、本市と太子町、河南町および千早赤阪村の4市町村が、旧金剛バスの一部路線を引き継ぎ、主要な路線を近鉄バスおよび南海バスが、それらを補完する路線などを自家用有償旅客運送などによるバスが、それぞれ運行しています。

■旧金剛バスが事業を廃止した背景

旧金剛バスでは、慢性的に乗務員不足が発生していました。また、近年の新型コロナの影響で離職者が急増したことで、令和4年から段階的に便数の削減が行われました。令和6年4月からの時間外労働の上限規制、いわゆる「2024年問題」により、これ以上、通勤・通学需要に応えることができないことが見込まれたことが事業廃止の原因でありました。乗務員不足の問題

は、旧金剛バスだけでなく全国のバス業界全体に関わる問題となっています。

■バス会社は積極的に乗務員を募集しています

本市を運行する近鉄バスおよび南海バスも乗務員不足が課題となっており、常時、バス乗務員を募集しています。また、大型2種免許をお持ちでない人でも、採用後の免許取得や、取得費用の補助などを実施しています。また、現在では女性乗務員も活躍されており、異業種からの転職希望者も含めて、幅広く採用をされています。

■これからも便利な公共交通を実現するために

バス乗務員を確保するために、バス乗務員の魅力を知ってもらうことはもちろんですが、何よりも、路線バス沿線にお住まいの人をはじめ、多くの人に日ごろから路線バスを利用していただくことが重要です。そうすることで、皆さんにバスの魅力を感じていただき、ひいては乗務員雇用につながることを期待されます。これからも大切な交通インフラを守るためにも、通勤・通学方法の一つとして、また、週末のレジャーや買い物などに、公共交通のご利用をお願いします。

道路交通課(内線416、417)